

2017年5月27-28日 神戸大学附属中等教育学校

1. 震災・復興とリスクマネジメント ()
2. 国際都市神戸と世界の文化 ()
3. 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ ()
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸 (○)
5. その他 ()

[概要]

日本気象学会春季学術大会 第3回日本気象学会ジュニアセッション参加

■ 開催日時

2017年5月28日(日) 11:00～12:30 (日本気象学会2017年度春季大会第4日)

■ 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター (春季大会会場)

■ 発表資格

高等学校、高等専門学校(1～3学年)、中学校の生徒であって、個人または団体(グループ)。

■ 発表内容・形態

発表形態は、ポスター・セッション。

発表内容は、生徒による気象・気候や大気についての調査・研究成果。

■ 発表テーマ

六甲おろしの実態調査と気温への影響

神戸市における冷気流と広域陸風による市街地に及ぼす影響の解析

活動の様子



学会参加に先立ち気象庁本庁を訪問しました



気象庁の気象科学館見学



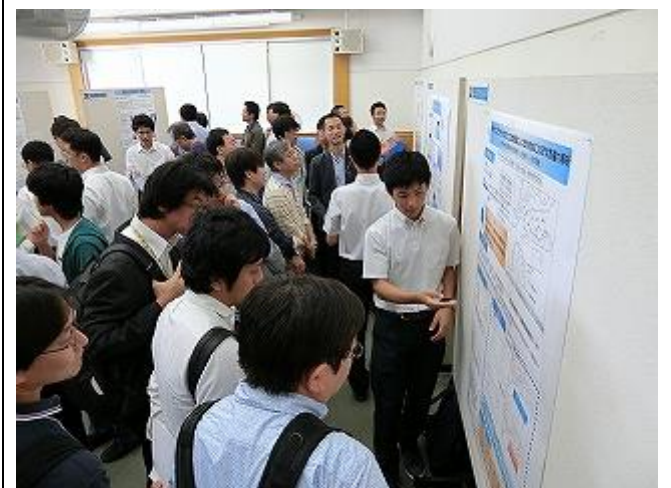
気象庁の気象科学館見学



ひとりひとりに発表認定証が交付されました



発表者集合写真



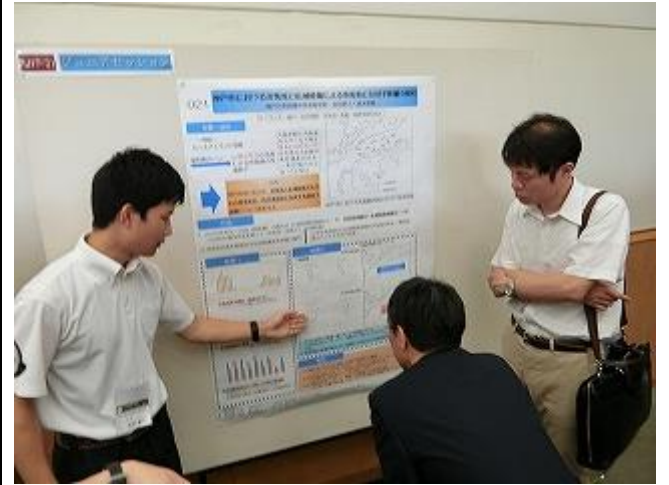
発表風景



発表風景



発表風景



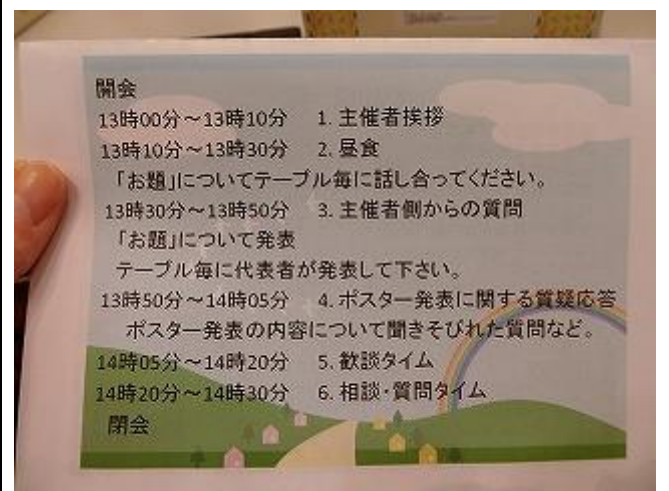
発表風景



発表後の懇親会・交流会



発表後の懇親会・交流会



発表後の懇親会・交流会

参加生徒の所感

(1)6年生 Yくん

私は今回初めて気象学会に参加させていただきました。そこで私が得たことは大きく分けて3つ程あります。1つ目は専門家の方からの鋭い質問とアドバイスです。特に、結果解析方法に関して前々から気になっていたことについて質問が飛んできて、問題解決のための打開策を得られたことが大きな収穫だと思います。また、今まであまり着目してこなかった観点に対して、深く解析を進めると面白そうだという意見もいただきました。2つ目は同じ気象学の研究を行っている高校生との交流の機会を得られたことです。連絡先も交換し、多くの繋がりも得ることが出来たので、今後も研究を進めていく中でいい意味で刺激し合うことができればと思っています。3つ目は自分の行っている研究について、改めて見つめ直す機会を得られたことです。卒業論文の執筆期間もあと少しとなり、今から新たに進められる内容には限りがあるかもしれません。しかし、少しでも今回得た学びを活かして、より良い研究になるよう解析、まとめを行い尽力していきたいと思えます。

(2)6年生 Aくん

初めて参加した学会発表は、自分にとって大きな刺激となりました。気象を専門とする先生方からアドバイスをたくさん頂けたことが一番の成果となりました。発表前には、発表の仕方や研究者の方と話をすることに対して不安を感じていました。しかし実際の発表では、研究者の方々は真摯に私の話を聞いてくださり、研究内容に対する質問や研究手法に関するアドバイスを多くの方からいただくことができました。たくさんの研究者の方々と、同じ立場で言葉を交わすことができたことは、自分にとって忘れられない経験となりました。